

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

若年者に対する冠動脈バイパス術の手術成績・遠隔成績に関する研究

2. 研究の対象患者

旭中央病院で冠動脈狭窄症に対して冠動脈バイパス術を施行された方で、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない方

1. 選択基準

- 1) 年齢が60歳以下の方
- 2) 性別不問

2. 除外基準

- 1) 研究責任(分担)者が研究対象者として不相当と判断した方

3. 研究の対象期間

1998年4月1日～2028年3月31日

4. 研究の概要

高齢化社会において、超高齢者に対する冠動脈バイパス術も増加傾向にあり良好な成績が得られているが、一方で若年者に対するバイパス術に関しては長期成績などについての報告は少ない。欧州で実施された50歳以下4086例を対象にした調査では5年・10年生存率は96%・90%であり、遠隔期死亡の主要なリスクファクターとしては慢性腎不全・低心機能・末梢血管疾患・COPDであるとされている。

当院では経皮的冠動脈カテーテル治療は年間700例を超えているが、冠動脈バイパス術は併施手術も合わせて30件程度で推移している。そこで、これまで当院で施行した冠動脈バイパス術のうち、施行時年齢が60歳未満の若年者において患者背景や、手術成績・長期予後について検討する。

5. 研究実施予定期間

2024年9月18日～2028年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、透析導入時の年齢、最終観察日・観察項目、入退院日、手術名・手術日、ICU滞在日数、手術内容、術後経過、術後遠隔期の状態

〔血液学的検査〕：RBC, Hb, WBC, Neu(%), Lym(%)

〔血液生化学的検査〕：BS, HbA1c, LDL, HDL, TG, T-CHO, BUN, Cre, eGFR, GOT, GPT, LDH, CK, GRP, TP, ALB, Na, K, Cl, Ca

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究対象者(又は代諾者)個々に結果説明することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：心臓外科 山本 哲史

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)